



2022年3月23日

一般社団法人禁煙推進学術ネットワーク

理事長 藤原 久義

緊急声明

—ウクライナでのロシアの軍事行動停止と平和的解決を！—

これまで、我が国の医科系・歯科系33学会から成る禁煙推進学術ネットワークは喫煙による健康障害から市民を守るための禁煙活動に専念してきました(1)。

しかし2022年2月24日以来のロシアによるウクライナへの大規模な軍事行動により、3月17日時点で多数のウクライナの一般市民がロシア軍の近代兵器により殺戮され、300万人以上の人々が生活の場を失い、家族は離れ離れとなり、難民として国外へ脱出、故郷を追われています(2)。

今後、さらに被害が増大し、第3次世界大戦・核戦争も危惧されています。3月16日には国際司法裁判所もロシアの軍事行動の即時停止を求めています(3)。

このような情報近代文明時代の人類の危機に対し、日本医学会連合をはじめ多くの学術団体がロシアのウクライナの軍事侵攻に対し反対声明を出しています(4)。

禁煙推進学術ネットワークにおいても、それらを支持し、以下のような声明を出すことになりました。

「人間の生命・健康を守る医学・医療に関わる禁煙推進学術ネットワークは、ロシアが直ちに軍事行動を停止し、世界各国が協調と対話を重ね、平和的外交手段で事態を收拾することを求めます。そしてウクライナの人々と同時に世界の人々に平和な日常が戻ることを祈念します。」

- (1) 禁煙推進学術ネットワークホームページ

www.tobacco-control-research-net.jp

- (2) 国連 UNHCR 協会【公式】

www.japanforunhcr.org/

- (3) 国際司法裁判所 ロシアに直ちに軍事行動止めるよう暫定命令

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220317/k10013535501000.html>

- (4) 一般社団法人日本医学会連合

ロシアによるウクライナ侵攻に関する緊急声明 2022年3月1日

https://www.jmsf.or.jp/news/page_864.html